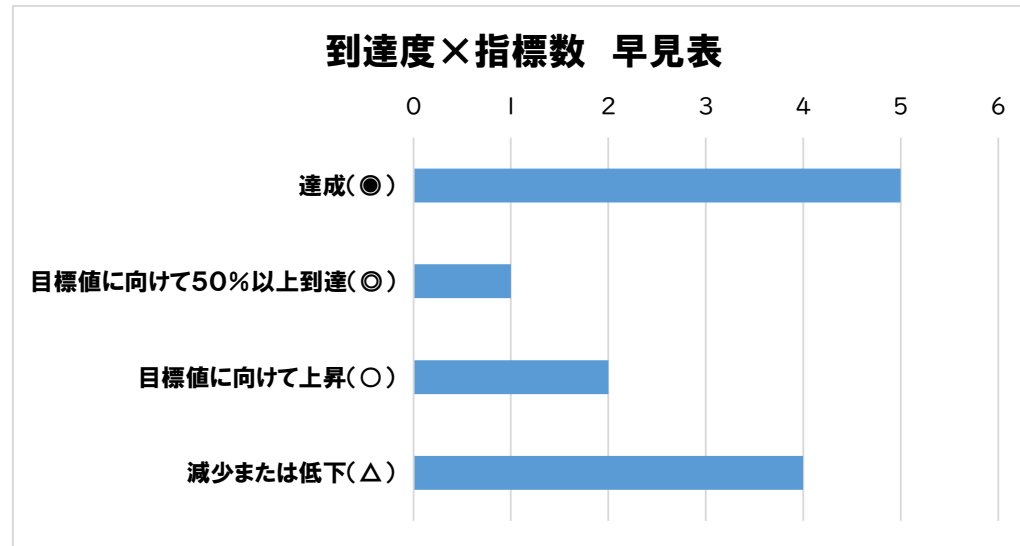


第8次大和市総合計画（後期基本計画）成果を計る主な指標の検証

基本目標 6 豊かな心を育むまち

▼成果を計る主な指標・最終目標値H30年度の達成状況

目標値に達した指標数	/	指標数
5	/	12
目標値に向けて50%以上到達した指標数	/	指標数
6	/	12
目標値に向けて上昇した指標数	/	指標数
8	/	12



資料2

～総括～

・12の成果を計る主な指標のうち、目標値に達したものは5、目標値に向けて上昇したものは8となり、多くの指標が目標値に向けて上昇しました。

・⁸⁸市民1人あたりの年間図書貸出冊数⁸⁹図書館や保育所などのおはなし会の延べ参加者数⁹⁵芸術文化ホール年間利用者数が目標を達成していることは、大和市立図書館、やまと芸術文化ホールを備え、平成28年度に開館した文化創造拠点シリウスの盛況ぶりが、ありのままに表れている良好な結果と捉えています。また、これらをアウトプットとして、⁹³文化や芸術活動が盛んに行われていると思う市民の割合も当初の値から大きく上昇し、目標を上回っています。

・数値が減少(低下)しているものとして、⁹⁰日常的にスポーツを楽しんでいる市民の割合は、スポーツに関わる様々なイベントの開催や施設の改修等の環境整備に努めてきた中で、当初の値から低下しており、課題と捉えています。また、⁹⁷歴史文化施設の利用者数は、近年減少傾向にあり、引き続き、施設の個性や魅力を伝えていくことが重要です。

・⁸⁶市民1人あたりの学習センター年間利用回数⁹⁴YAMATO ART100来場者数は、会議室等の利用人数をもとに算出している指標であり、目標値を下回っているものの、シリウスやポラリスでは、従来の会議室に代えて誰もが自由に使える市民交流スペースを整備したことに伴い、実態としては増加につながっています。⁹⁴YAMATO ART100来場者数は、最終年度においては目標を下回った一方で、過去には目標を達成した年度もあり、天候等の影響でばらつきが生じていますが、今後も多くの市民が文化芸術に触れられる機会を提供していく必要があります。

・「豊かな心を育むまち」の実現に寄与する取り組みのうち、特に読書や学び、文化芸術に関する分野は、市を代表するシリウスの完成に伴い、一定の成果を上げることができました。健康都市やまと総合計画においては、基本目標を「豊かな心と感動が広がるまち」としており、市民の豊かな心の形成や感動の広がりにつながる取り組みを一層推進していく考えです。

(総合計画審議会のコメント)

成果を計る主な指標の達成状況の検証(課題となるものを抜粋)

指標の項目	当初値 H24	目標値 H30	実績値 H30	到達度	
				率	到達
86 市民1人あたりの学習センター年間利用回数	4.11回	4.6回	3.44回	-142.6%	△
87 団体企画提案の地域学習交流事業・市共催事業数	90件	133件	99件	20.9%	○
88 市民1人あたりの年間図書貸出冊数	4.60冊	5.87冊	6.36冊	138.6%	●
89 図書館や保育所などのおはなし会の延べ参加者数	1,933人	2,580人	3,387人	224.7%	●
90 日常的にスポーツを楽しんでいる市民の割合	36.1%	37.5%	34.8%	-92.9%	△
91 市民1人あたりの公共スポーツ施設年間利用回数	5.79回	6.85回	5.90回	10.4%	○
92 総合型地域スポーツクラブの設置数	0団体	2団体	3団体	150.0%	●
93 文化や芸術活動が盛んに行われていると思う市民の割合	42.4%	56.4%	60.2%	127.1%	●
94 YAMATO ART100来場者数	105,484人	115,000人	100,908人	-48.1%	△
95 芸術文化ホール年間利用者数	0人	230,000人	255,465人	111.1%	●
96 大和市の歴史や文化は、しっかりと継承されていると思う市民の割合	41.5%	42.9%	42.3%	57.1%	◎
97 歴史文化施設の利用者数	48,339人	51,300人	34,331人	-473.1%	△

①⁹⁰日常的にスポーツを楽しんでいる市民の割合

(達成状況に関する市の考え方)

・各種スポーツ教室や13ヶ国2,500人以上の方々が参加したYAMATO WORLD SPORTS FESTIVAL 2018の開催、スポーツ施設の改修等、様々な取り組みを進めてきましたが、数値はほぼ横ばいで推移し、目標値を達成できませんでした。近年では、様々なスポーツ活動やスポーツイベントなどへの参加を対象に健康ポイントを付与するなど、健康づくりの側面からスポーツに取り組んでもらうアプローチも進めているところであり、東京オリンピックの開催等によるスポーツの需要も高まっていることから、平成31年4月に策定した「第2期大和スポーツ推進計画」に基づき、新たにスポーツによって地域の絆や健康へ「つながる」視点を持ちながら、今後も引き続き、スポーツへの意識を高められるようなイベントの開催等、施策を展開していきます。

(総合計画審議会のコメント)

②⁹⁷歴史文化施設の利用者数

(達成状況に関する市の考え方)

・各施設とも企画内容や天候によって利用者数に変動がある中で、近年減少傾向にあります。一方で、施設の利用者数には直接表れないものの、大和市の歴史文化の継承に寄与する取り組みとして、当該施設の一部の資料を文化創造拠点シリウスに移設するなど、より多くの方の目に触れるような工夫などを行っているところです。今後も引き続き、施設の個性や魅力を伝える取り組みに努めます。

(総合計画審議会のコメント)